

蛋白質研究所セミナー

膜蛋白質の機能発現メカニズムの解明に向けて
—細胞膜上での事象の解析—

日時：9月24日（木）、25日（金）

場所：大阪大学蛋白質研究所（吹田キャンパス）1階講堂

9月24日（木）

- 13:10 所長挨拶 相本三郎（阪大 蛋白研）
- 13:20 H⁺-ATP 合成酵素膜内在サブユニット c リングの固体 NMR による解明 戸所泰人（阪大 蛋白研）
- 13:45 膜結合性蛋白質ドメインの構造モチーフと脂質膜上における機能：固体NMRによる解析
辻暁（兵庫県立大 理）
- 14:10 固体 NMR によるレチナル膜タンパク質の構造機能相関の解明 内藤晶（横浜国大 工）
- 14:35 不安定な蛋白質の調製・解析への蛋白質凝集防止剤 NDSB の応用 若松馨（群馬大 工）
- 休憩—
- 15:15 アミロイドβ前駆体蛋白質膜貫通-細胞質内膜近傍部位の構造解析 佐藤毅（阪大 蛋白研）
- 15:40 細菌型 site-2 protease の基質認識における PDZ ドメインの役割 禾晃和（阪大 蛋白研）
- 16:05 膜内配列切断酵素γセクレターゼの構造活性相関解析 富田泰輔（東大 薬）
- 16:30 コイルドコイル蛍光ラベル法を用いた生細胞での受容体の可視化解析 矢野義明（京大 薬）
- 16:55 3量体 G タンパク質の機能発現機構の新規制御分子による解析 伊東広（奈良先端大 バイオ）
- 17:20 G タンパク質共役型受容体の細胞内因子による活性調節 中畑則道（東北大 薬）

—懇親会—

9月25日（金）

- 9:30 生体膜融合：in vitro 完全再構成系によるアプローチ 三間穰治（阪大 蛋白研）
- 9:55 細胞膜と膜蛋白質の分子動力学計算 杉田有治（理研 基幹研）
- 10:20 原子間力顕微鏡を用いた膜蛋白質の一分子イメージング 篠崎陽一（NTT 物性科学基礎研 機能物質科学）
- 10:45 アポ A-I のドメイン構造と細胞膜相互作用のメカニズム 斎藤博幸（神戸薬科大 薬品物理化学）
- 11:10 新たな膜結合型 E3 ユビキチンリガーゼファミリー 石戸聡（理研 免疫・アレルギー科学総合研究センター）
- 11:35 ErbB-Ras システムの細胞膜事象 佐甲靖志（理研 基幹研）
- 12:00 電位センサードメイン蛋白から、電位センサーの動作原理に迫る 岡村康司（阪大 医）

世話人：相本三郎、佐藤毅（阪大 蛋白研）

連絡先：〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 蛋白質有機化学研究室

電話：06-6879-8602 E-mail: takeshi@protein.osaka-u.ac.jp

参加費・事前登録：不要